

中富小だより

所沢市立中富小学校 学校通信第7号
令和3年9月29日発行

学校教育目標
「なかよく かしく たくましく」

三つの約束
○あいさつ
○整理整頓
○時間を守る

1年生	45名	4年生	52名
児 2年生	39名	5年生	41名
童 3年生	40名	6年生	57名
数 5組	6名	6組	2名
全校児童数	282		

延期した行事の実現に向けて

校長 仲田 智宏

第2学期が始まって今日で一ヶ月が経ちました。新学期当初、埼玉県は感染拡大状況でした。緊急事態宣言中の学校生活でしたが、皆が協力しあって落ち着いた生活ができたと思います。また、ご家庭のご協力にもたいへん感謝しております。

8月の終わりから始まったこの一ヶ月間、皆の頑張りを紹介します。とにかく感心したのは給食の時間でした。『黙食』という言葉が使われるようになりましたが、それを正に実現しています。子ども達と教員達はこれを守っているのです。静かに食事をするその健気な姿を見ると、気の緩みなど感じさせません。『あっぱれ』です。下校指導でお会いした保護者から、「入学して2年目、ずっとコロナ禍です。給食を試食できる日が楽しみです。」と聞きました。保護者や地域の皆様、もう少し、もう少しですから頑張ってください。いずれ様々な方をお招きして、食に関するイベントをやりたいと思っています。

リモート接続テストに向け、子どもも教員も頑張っているのが印象的です。一人一台端末の効果的な活用、子どもたちのスキルアップのため、まずは中富小と全家庭をつなごうという取組です。その準備として、4～5教室を使い、別室にいる担任やクラスメイトと画面越しに対話するという練習をしています。子ども達は自分の端末にログインできるようになりましたし、担任からの問いかけに答えられるようになりました。新しい取組、夢や可能性の広がり、創造性を発揮する活動に心が躍ります。「世界とつながる革新的な扉」を子ども達が自由自在に操作し、豊かに学んでいって欲しいです。

先週から運動会の練習が始まり、にわかに活気づいてきました。朝読書や朝学習など静かに過ごし心を落ち着かせ、その後の活動に意欲的に取り組む。そうしたメリハリのある生活で子どもが生き生きとしています。延期した運動会や修学旅行が実施できるように、また高学年の自然教室が実現できることを願い、職員一同全力で取り組みます。

防災への取組、意識を高めるために

予定していた校内の避難訓練は、緊急事態宣言のため延期を余儀なくされています。地域で行われる防災訓練も実施できない状況になっています。しかし、地震等の災害はいつ起こるかわかりません。台風シーズンとなり、中富は河川の氾濫の被害はなくても強風による被害があるかもしれません。防災への意識は常に高めておく必要があります。

私事ですが、夏休みに入ってから、徒歩で学校に来るという防災訓練を実施しました。自宅から中富小の職員玄関まで、1時間46分でした。災害時に道路の状況が悪く自転車が使えないという想定にしました。データが取れ、ちょっとした達成感も味わいました。

また、防災グッズも補充しました。モバイルバッテリーは準備していますが、それだけでは心細いので、AM/FM搭載（手回し発電機付き）ワンセグテレビを購入しました。モバイルバッテリーとしても利用できる多機能な機種にしました。有事には、情報を集めることが重要です。メディアはいろいろありますが、地上波が最も情報発信が早いと感じます。また、気象情報などは画面があるほうが正確に把握できると考えました。

さて、台風16号が接近して十分に注意が必要です。学校からメールが配信されたときには、必ずご確認くださいようお願いいたします。